

新しい糸島市図書館がオープン

7月4日(土曜日)9時20分～ 落成式

九州電力前原営業所建物を図書館にリノベーション

鉄筋コンクリート造3階建の本格的な図書館

新旧比較	新図書館		旧図書館 (ぱびるす館)
延床面積 (㎡)	1,592	← 2倍以上	736
開架図書冊数 (冊)	約9万	← 1.25倍	約7万2千
閉架収納可能冊数 (冊)	約12万	← 2.4倍	約5万



天井に糸島産間伐材を使った1階フロアの様子

【従来からの課題を克服】

- ◎「子どもの声が気になる」⇒ 子どもと大人のスペースを分離（子ども用の2階フロアには、「寝ころびスペース」や「お話しの部屋」を設置）
- ◎「伊都文化会館のイベント開催時に駐車できない」⇒ 専用の駐車場58台分を完備
- ◎「学習室の席が足りない」⇒ これまでの14席を34席に充実。一部パソコン持込みも可

市民に愛され、豊かさを実感してもらえる図書館を市民とともにつくりていきたい

開館記念講演会開催

- ◎日時：7月4日（土曜日） 14時から
- ◎場所：糸島市人権センター
- ◎講師：岡野雄一氏（「ペコロスの母に会いに行く」著者）



関西の方々が古代「伊都国」へ熱視線

大阪府立弥生文化博物館特別展「卑弥呼展(5/1~7/5)」で「伊都国歴史講座」を開催(6月13日)

予想を上回る350人の観客。会場に入りきれずモニター室での視聴も

- ◎講師は、2月に神奈川県相模女子大学での歴史講座でも登壇した文化課の学芸員岡部裕俊
- ◎弥生文化博物館は、「卑弥呼と出会う博物館」がコンセプト
- ◎卑弥呼誕生の地とも言われる「伊都国」があった糸島市とのコラボレーションが実現
- ◎当日は、会場で糸島市の観光案内も実施



講演会の様子(左:講師の岡部学芸員 右:モニター室も満杯)

大阪発2泊3日のツアー「魏志倭人伝の世界に行く」

「卑弥呼展」関連企画として奴国、伊都国、末盧國をめぐる旅

- 期間:7月1日(水曜日)~3日(金曜日)の2泊3日
- 参加者:48人(最少催行人数30人のところ)⇒満員御礼
- 行程:伊都国歴史博物館、平原遺跡、三雲南小路遺跡、志摩歴史資料館、新町遺跡展示館、志登支石墓群、末盧館、吉野ケ里遺跡、太宰府天満宮、九州国立博物館、福岡市埋蔵文化財センターなど
- 参加費:7万9,500円(税込)

「食」だけでなく、「歴史」など、さまざまな要素が平均点以上に揃っているところが、本市の強み(注目ポイント)